



# 市議会だより



平成25年4月1日に松阪市に寄贈された旧長谷川邸は、江戸時代以来の江戸で活躍した松阪商人の隆盛を今に伝える貴重な歴史的文化遺産です。

江戸時代の雰囲気の色濃く残した旧長谷川邸内部のようす（主屋通り土間）

## 議員定数削減 30人から28人へ 次の市議会議員選挙から適用

今議会の最終日、議員全員で構成する議会改革特別委員会から松阪市議会議員定数条例の改正案が提出され、全会一致で可決されました。

よって、議員定数は次の市議会議員選挙から現行定数30人より2人減の28人となります。

### 主な掲載内容

- 2～ 4ページ…… 2月定例会の概要
- 4～ 6ページ…… 議決結果一覧表
- 7～18ページ…… 代表質問
- 19～21ページ…… 常任委員会の審査
- 21ページ…… 議場見学
- 22ページ…… 平成24年度行政視察受入状況
- 23ページ…… 平成24年度政務活動費の執行状況  
議会報告会
- 24ページ…… 議会のうごき、5月定例会  
日程、議会放映、編集後記

# 2月定例会の概要

2月定例会は、2月20日(水)から3月25日(月)までの会期34日間の日程で開催しました。今定例会では、市長から提案された57議案を審議し、それぞれ可決するとともに、11件の人事案件に同意、賛成しました。また、報告4件を審議しました。

議員から提出された2議案については、1件を可決し、1件を否決しました。

## 主な議案の内容

### 議案第1号

平成25年度松阪市一般会計予算  
平成25年度の主な事業は次のとおりです。

- 被災地支援事業費

- (249万1000円)

- 一般職退職手当

- (13億9662万3000円)

- 三重中京大学返還地測量等事業費

- (644万9000円)

- 本庁舎耐震事業費

- (330万円)

- セーフコミュニティ推進事業費

- (61万2000円)

- 住民協議会活動交付金

- (7925万3000円)

- 嬉野地域振興局舎移転整備事業費

- (1億2092万7000円)

- 地域づくり支援事業補助金

- (3106万1000円)

- 防災啓発事業費

- (904万7000円)

- 自主防災組織育成推進事業費

- 災害用備蓄管理事業費

- (1531万8000円)

- 交通死亡事故ゼロ対策事業費

- (854万2000円)

- 税務総合システム更新事業費

- (1億6856万9000円)

- 戸籍システム改修事業費

- (445万4000円)

- 社会福祉法人指導監査等事業費

- (271万2000円)

- 放課後児童クラブ活動事業費

- (1億811万3000円)

- 放課後児童クラブ施設整備事業費

- (946万1000円)

- 自立支援医療(育成医療)給付事業費

- (1261万2000円)

- 生活保護扶助費

- (45億6390万円)

- 浄化槽設置促進事業費

- (1億4611万4000円)

- 共同簡易飲料水供給施設整備事業費

- (489万3000円)

- 篠田山霊苑施設整備事業費

- (1900万円)

- 嬉野斎場施設整備事業費

- (714万円)

- 未熟児養育医療給付事業費

- (1171万7000円)

- 不育症治療費助成事業費

- (205万4000円)

- 飯南眼科クリニック医療機器整備事業費

- (619万5000円)

- ごみ処理基盤施設建設事業費

- (11億534万1000円)

- 松阪牛まつり事業費

- (1570万円)

- 集落営農組織施設整備支援事業補助金

- (110万6000円)

- 飯高地域資源活用交流施設整備事業費

- (400万円)

- 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金

- (750万円)

- 有害鳥獣対策事業費

- (319万円)

- 有害鳥獣捕獲補助金

- (1275万円)

- 有害鳥獣防護柵設置補助金

- (250万円)

- 森林施業集約事業費(緊急雇用)

- (1451万6000円)

- 消費生活関連事業費

- (286万1000円)

- 地域公共交通システムシンボジュム事業費

- (27万3000円)

- 元気まつさか産業ビジリンピック開催事業費

- (846万8000円)

- 観光施設整備事業費

- (846万8000円)

- (1億2359万9000円)

- 松阪経営文化塾事業費

- (661万7000円)

- 企業立地等促進奨励金

- (7624万2000円)



議案の審議風景

- 交通安全施設緊急整備事業費

- (3300万円)

- 大足久保町線道路改良事業費

- (4500万円)

- 松阪六軒線道路改良事業費

- (900万円)

- 都市計画変更事業費

- (500万円)

- 中心市街地整備事業費

- (100万5000円)

- 総合運動公園建設事業費(補助)

- (3億200万円)

- 松名瀬海岸海浜公園建設事業費

- (2000万円)

- 消防防災施設整備事業費

- (4877万円)

- まつさか夢交流事業費

- (243万2000円)

- ・子どもいきいきサポート事業費（緊急雇用）（343万2000円）
- ・学びのサポート推進事業費（緊急雇用）（394万63000円）
- ・郷土の偉人に学ぶ教育推進事業費（55万6000円）
- ・フューチャースクール推進事業費（4202万6000円）
- ・学びのイノベーション事業費（130万円）
- ・外国人子どもアシスタント事業費（緊急雇用）（147万6000円）
- ・育ちサポート推進事業費（1617万1000円）
- ・小野江小学校校舎増築事業費（2億7541万6000円）
- ・鎌田中学校校舎改築事業費（323万2000円）
- ・豊田幼稚園園舎改築事業費（9230万9000円）
- ・小津安二郎没後50年記念事業費（150万円）
- ・長谷川家文化財調査事業費（895万4000円）
- ・長谷川家資料調査事業費（424万円）
- ・無形民俗文化財普及事業費（69万1000円）
- ・松坂城跡保存整備検討事業費（50万4000円）
- ・文化財センター施設整備事業費（320万円）
- ・松浦武四郎誕生地保存整備活用事業費

業費（2696万8000円）  
**議案第2号**  
 平成25年度松阪市競輪事業特別会計予算

上半期の本場開催と通年の場外発売を行うための経費を予算化し、一般会計からの赤字補てん額を最小限に抑えながら、競輪事業からの撤退やサテライト化を含めた、今後の具体的な方策を検討します。

- ・一般会計繰入金（4億6970万9000円）
- ・競輪事業における収入不足見込み額を補てんするために、一般会計から繰り入れるものです。
- ・普通競輪開催事業費（3億5176万4000円）

上半期に行う普通競輪27日間の開催業務委託料や自転車競技会に支払う競技委託料、事業用機器借上料などの経費です。

**議案第25号**

松阪市市長及び副市長の給料、旅費等に関する条例の一部改正について  
 市長及び副市長の期末手当の支給割合を100分の395にするとともに、現市長の在職期間を限度として、給料月額を月額20%減額、期末手当を月額50%減額するものです。

**議案第28号**

松阪市国民健康保険税条例の一部改正について

平成23年度国民健康保険税の税率改正において、社会的弱者の救済、激変緩和措置として、2年間軽減割合の上乗せ措置を実施してきましたが、依然として景気や雇用情勢の回復が見込めないことから、当該軽減措置を平成27年3月31日までさらに2年間の延長を実施するものです。



予算説明会

**議案第41号・67号**

教育委員会委員の任命について  
 次の方を任命することに同意しました。

- 伊藤 和代氏
- 東 博武氏

**議案第42号**

平成24年度松阪市一般会計補正予算（第7号）

- ・競輪事業特別会計繰出金（△4億6396万8000円）

競輪事業特別会計の収支見込みの補正に伴い、一般会計からの繰り出しが不要となったものです。

- ・総合運動公園建設事業費（暮らしの安心・地域活性化等）（4億500万円）

国の補正予算（緊急経済対策）に伴う新規事業で、主に、多目的グラウンドの人工芝の整備費と土地購入費です。

**議案第54号**

松阪市常勤の監査委員の給与等に関する条例の廃止について

**議案第55号**

松阪市監査委員条例の一部改正について

**議案第56号**

松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

本市の監査委員は、識見を有する者から2人、議会議員から1人の3人体制であり、識見を有する者のうち1人を代表監査委員として定め、常勤としてきましたが、現在の監査体制や会計処理方法の状況を踏まえ、平成25年度から常勤制度を廃止することとしました。

**議案第57号**

松阪市職員退職手当支給条例等の一部改正について

人事院から示された退職給付にかかる官民比較調査の結果等を踏ま

# 松阪市議会だより

え、官民格差の解消を図るために退職手当条例に設けられている調整率を100分の104から100分の87へ段階的に引き下げるものです。

## 議案第59号・60号

監査委員の選任について

次の方を選任することに同意しました。

土本 勲 氏  
大谷 久美 氏

## 議案第61号

公平委員会委員の選任について

次の方を選任することに同意しました。

川端 康成 氏

## 議案第62号～66号

人権擁護委員候補者の推薦について  
次の候補者を推薦することに賛成しました。

西山 隆男 氏  
前田 泰子 氏  
中川 留美 氏  
高橋 範子 氏  
山田 光男 氏

## 議案第68号

副市長の選任について

次の方を選任することに同意しました。

小牧 豊文 氏

## 発議第1号

松阪市議会議員定数条例の一部改正について

次期一般選挙から現在30人の議員定数を28人に改めるものです。

## 選挙第1号

松阪市選挙管理委員及び補充員選挙について

次の方が当選しました。

選挙管理委員  
鈴木 三恵子 氏  
荒井 正裕 氏  
岡田 辰也 氏  
山越 一 氏  
選挙管理委員補充員

佐波 早苗 氏  
川合 重雄 氏  
佐々木 憲一 氏  
柳瀬 憲男 氏

## 選挙第2号

松阪地区広域衛生組合議会の議員

(補充)選挙について  
次の者が当選しました。

堀端 脩 議員

## 選挙第3号

松阪地区広域消防組合議会の議員

(補充)選挙について  
次の者が当選しました。  
中瀬古 初美 議員

## 議 決 結 果 一 覧 表

### 【全会一致で可決・承認・賛成された案件】

議案番号	案 件
議案第2号	平成25年度松阪市競輪事業特別会計予算
議案第3号	平成25年度松阪市国民健康保険事業特別会計予算
議案第4号	平成25年度松阪市介護保険事業特別会計予算
議案第6号	平成25年度松阪市簡易水道事業特別会計予算
議案第7号	平成25年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算
議案第8号	平成25年度松阪市農業集落排水事業特別会計予算
議案第9号	平成25年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
議案第12号	平成25年度松阪市公共下水道事業会計予算
議案第15号	松阪市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例の制定について
議案第16号	松阪市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について
議案第17号	松阪市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定について
議案第18号	松阪市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
議案第19号	松阪市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について
議案第20号	松阪市水道事業及び簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の制定について

## 松阪市議会だより

議案第21号	松阪市住民生活に光をそそぐ基金条例の廃止について
議案第22号	松阪市地域集会所条例の一部改正について
議案第23号	松阪市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
議案第24号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第25号	松阪市市長及び副市長の給料、旅費等に関する条例の一部改正について
議案第26号	松阪市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について
議案第27号	松阪市介護給付費等の支給に関する審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について
議案第28号	松阪市国民健康保険税条例の一部改正について
議案第29号	松阪市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第30号	松阪市都市公園条例の一部改正について
議案第31号	松阪市営住宅条例の一部改正について
議案第32号	松阪市改良住宅条例の一部改正について
議案第33号	松阪市小集落改良住宅条例の一部改正について
議案第34号	松阪市道路占用料等徴収条例の一部改正について
議案第35号	松阪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
議案第36号	松阪市公共下水道条例の一部改正について
議案第37号	財産の無償譲渡について
議案第38号	市道路線の認定について
議案第39号	市道路線の変更について
議案第40号	三重県市町総合事務組合理約の変更に関する協議について
議案第41号	教育委員会委員の任命について
議案第42号	平成24年度松阪市一般会計補正予算（第7号）
議案第44号	平成24年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
議案第45号	平成24年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
議案第46号	平成24年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
議案第47号	平成24年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
議案第48号	平成24年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
議案第49号	平成24年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）
議案第51号	平成24年度松阪市水道事業会計補正予算（第4号）
議案第52号	平成24年度松阪市公共下水道事業会計補正予算（第3号）
議案第58号	財産の取得について
議案第60号	監査委員の選任について
議案第61号	公平委員会委員の選任について
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第63号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第66号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第67号	教育委員会委員の任命について
発議第1号	松阪市議会議員定数条例の一部改正について

【表決が分かれた案件】

議案番号	案 件																							審 議 結 果							
議案第1号	平成25年度松阪市一般会計予算																							賛成多数 可 決							
議案第5号	平成25年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計予算																							賛成多数 可 決							
議案第10号	平成25年度松阪市ケーブルシステム事業特別会計予算																							賛成多数 可 決							
議案第11号	平成25年度松阪市水道事業会計予算																							賛成多数 可 決							
議案第13号	平成25年度松阪市松阪市民病院事業会計予算																							賛成多数 可 決							
議案第14号	松阪市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準条例の制定について																							賛成多数 可 決							
議案第43号	平成24年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第3号）																							賛成多数 可 決							
議案第50号	平成24年度松阪市ケーブルシステム事業特別会計補正予算（第2号）																							賛成多数 可 決							
議案第53号	平成24年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算（第2号）																							賛成多数 可 決							
議案第54号	松阪市常勤の監査委員の給与等に関する条例の廃止について																							賛成多数 可 決							
議案第55号	松阪市監査委員条例の一部改正について																							賛成多数 可 決							
議案第56号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について																							賛成多数 可 決							
議案第57号	松阪市職員退職手当支給条例等の一部改正について																							賛成多数 可 決							
議案第59号	監査委員の選任について																							賛成多数 同 意							
議案第68号	副市長の選任について																							賛成多数 同 意							
発議第2号	「みえ森と緑の県民税」導入に伴う県民の意見聴取を求める意見書について																							賛成少数 否 決							
議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ							市 民 民 主 ク ラ ブ							あ か つ き 会				日 本 共 産 党			公 明 党		植 松 泰 之	海 住 恒 幸	前 川 幸 敏					
	野 呂 一 男	山 本 芳 敬	大 平 勇	大 久 保 陽 一	濱 口 高 志	佐 波 徹	山 本 登 茂 治	中 森 弘 幸	野 口 正	水 谷 晴 夫	川 口 保	永 作 邦 夫	松 田 俊 助	中 島 清 晴	田 中 力	中 出 実	中 瀬 古 初 美	堀 端 脩	中 村 良 子	田 中 祐 治	小 林 正 司	今 井 一 久	久 松 倫 生				松 田 千 代	川 口 寿 美	山 本 節	西 村 友 志	
議案第1号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第5号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	○	○	○	×	○	×	×	-	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第55号	○	○	○	×	○	×	×	-	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第56号	○	○	○	×	○	×	×	-	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第57号	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第59号	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	×	○	○	○	×	○	×	-	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	

議長 中森弘幸は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

# 代 表 質 問

平成25年度当初予算審議に当たり、2月定例会初日に市長から今後の市政の展開と当面の重要課題について所信が表明され、これに対し5会派の代表及び会派に所属しない議員により活発な質疑・意見が繰り広げられました。

市長の平成25年度の市政に対する所信は、松阪市ホームページの市長のページに掲載されております。

## 市民民主クラブ

代表質問 松田 俊 助 議員

関連質問 川口 保 議員

関連質問 永作 邦 夫 議員

いのちや痛みに関わることを大切にすまちづくりについて

問 健康センターの役割は大きく、前向きに事業の推進に力を注いでほしいが考えは。

答 新健康センターをつくっていく方向には変わりがない。場所の位置づけ、健康づくりのあり方、一次医療のあり方を今後議論していく。



松阪市健康センター

問 三重中京大学跡地を活用し、特別支援学校の誘致と療育センターの設置を同時進行で考えているのか。

答 三重中京大学及び三重県と協議をしながら時系列で進めていく。可能な限り28年度あたりを目途にスタートしたい。

問 窓口業務の中で障がい者が受けられることができる諸施策について、知らなくて済んでしまうことはないのか。

答 一部の市民から制度の説明がなかったとの指摘があり、職場ミーティングをしながら細心の注意を払っていききたい。

問 社会福祉法の改正により、県から市に権限移譲があるが、福祉法人は何力所あるのか。また福祉課で指導、監査、認可ができるのか。

答 市内の社会福祉法人は28力所ある。福祉課に新たな組織を設置するとともに、適正な人員を配置していきたい。

日本一子育て・子育てができるまちづくりについて

問 保育園の職員について、正規率は58%で、保育園の経営は非常勤職員に頼っているが、利用者のニーズに応えることができるのか。

答 現在の比率が下がらないよう検討していく。正規職員、非常勤職員が丸となって保育の質の向上に向けて努力していく。

市民とつくるまちづくりについて

問 住民協議会の活動交付金について、交付金規則では政治活動を禁止しているが、市長選挙で松創会のビラを配布した協議会があった事実を把握しているのか。

答 住民協議会として、政治活動をした事実はないと確認した。今後そのような事実があれば、厳しく対応させていただく。

問 松阪市民まちづくり基本条例について、一字一句変えないというかたくなな態度でなく、議会と議論してすり合わせていくことが大事であると思うが、市長の考えは。

答 一字一句変えないという言葉がひとり歩きしているが、この言葉を使ったことはない。議会で再度議論し、変えていただくことは可能であり柔軟に考えている。

観光戦略について

問 松阪市を訪れる観光客数はどのよう把握されるのか。また、観光客の定義と、年間観光客数は。

答 非常に難しい問題で、一般的に観光客といっても、観光施設の利用者だけでなく、飲食店とか土産

物とか宿泊施設の利用など、また居住地が市内か県外か把握するべきがないのが現状である。全国観光統計基準によると年間210万人から230万人で推移している。

問 山中市政の観光についてのグラントデザインとは。

答 食の部分、歴史文化の部分、さまざまなブランド力、自然環境、地域性、こういうものをパッケージにして、市内に住む方々も温かく住める、来ていただいた方におもてなしができる環境、穏やかに幸せを感じてもらえるまちづくりである。

問 長谷川邸の駐車場の広さは。また何台駐車できるのか。

答 広さ1617.61平方メートル、50台分の駐車場である。

問 長谷川邸の利用方法は。

答 物販、もめん振興、地域のコミュニティの場、飲食のあり方なども含め議論をして25年度中に考え、26年度予算に反映していきたい。

問 松阪経営文化塾事業の内容は。

答 本市にゆかりのある企業、本市の出身で出ていってみえる企業、日本橋と松阪をつなぐということを意識した事業展開を目指して、日本橋を主会場にするセミナーなど、松阪の歴史や文化、食を知っていたり、機会を生み出して驚きや感動を伝えたい。

市民や地域の命を支える産業を  
育てるまちづくりについて

問 障がい者雇用について依然として前に進まない、雇用されない環境にある。積極的に推進している企業もあるが、多くは違反しないように、お金で済ますことで責任を逃れている現状について認識しているのか。

答 障がい者雇用については、市長、副市長、部長とハローワークの職員で企業訪問などしてきたが、十分な雇用というものが徹底されている現状ではないという認識を持っていく。

問 競輪事業について、日本写真判定から存続に向けた提案がなされたが、具体的な提案がされたのか。また、他社からの提案も受けるのか。



松阪競輪場

答 松阪競輪の存続に向けた提案は

従前からさまざまある。ある事業者からは、当面の間、無償でコンサルティング的な機能もさせていただけないかという話も受けている。関係機関や団体とも協議を進め、ある程度リスクを低減させた契約が可能なのか、4月、5月などでこの案件について臨時議会をお願いすることもある。

うるおいある快適な  
まちづくりについて

問 RDF事業について、市長の脱会発言から3年、首長同士の話は折り合いがつかなかったということと、事務レベルの協議が2月に始まったが、どういうことが協議されたのか。また、協議の結果、方向性が出たのか。

答 事務方協議の場では、資料や情報の整理を行い、方向性を決めることはない。松阪市が離脱に伴って発生する課題や増減する経費等について資料の整理をし、会議を進めたのが一回目である。

問 無駄な税金は1円たりとも出さない、と言われているが無駄な税金とは具体的にどの部分なのか。

答 投入もしていない利用割額を今と同じように払うことはできない。松阪市がどのようなお金を払うことが周辺市町との兼ね合いで必要不可欠か、飯南、飯高を入れたいことによってその地域における

新規の費用との税金の二重払いになってしまふことについて、市民に対する説明責任をどうしていくのかという話をしてきた。

問 私個人として、今後の解決方法としては、3町のごみを松阪市で処理したらいいと思う。地元協議もあるが、丸くおさまるのではないか。

答 今後いろんな環境産業の誘致、広域の中でのごみ減量化、3町の意向、負担金の話など、非常に大きな課題がある。3町のごみ処理における計画のあり方なども含め事務局レベルで幅広く検討していきたい。

問 最終処分場はあと10年は使えるが、当時地元との環境整備の覚書があり、依然として進んでいない道路と河川という問題が残っている。今後の予定は。

答 現在河川改修と道路整備の2事業が継続している。河川改修は、地権者の理解と地元自治会の協力により承諾が得られたため、26年度の完成を目指して取り組みたい。道路整備は、地権者の理解同意が難しく、進展には至っていないが、担当課と努力していきたい。

問 資源リサイクル率が上がらない現状について、月1回を2回なり3回に上げていくことは。

答 プラスチック容器リサイクル法の関係のプラスチックは、現在18

自治会で協力いただいている。27年度からのごみ処理一元化についてプロジェクトチームをつくって協議している。



松阪市リサイクルセンター

市民目線の行政経営について

問 市民や地域の声を直接聞く意見聴取会やワークショップなどについては、きめ細かく43地域で開催していただきたいが考えは。

答 今後もある程度共有したテーマで秋口あたりから43地域で行っていききたい。

市長の倫理観について

問 各自治会長宅に送られてきた写真と文章について市長の見解は。

答 写真が撮られる場に行ったことは100%ない。

問 ユーチューブ、DVDについての市長の見解は。

答 市の職員に手を出したというDVDもあったが、そのことにおい

ても100%事実無根である。

問 市長の経歴に保護司とあるが、大変忙しい中で保護司もされているんだなと感じた。現実にはケース持っているのか。また、研修は何回出席されたか。

答 研修には2回出席したが、その後公務との兼ね合いで行っていない。ケースの方は対応できる部分があれば日程にかかわらず真摯に対応していきたい。保護司会の役割に広報PRもあるので、役割を果たしていきたい。

会派に所属しない議員

海住 恒 幸 議員

意見聴取会をまちづくり

基本条例に位置付けを

問 今から10年前、初めての一般質問で、ベルファームのような大型事業は構想の段階から市民に知らせ、市民の意向を聴いてから具体化する仕組みづくりを提言した。

中止や変更ができなくなった段階で市民に知らせるのではなく、市民の意向を聴いてから政策決定を行う市政であるべきだという内容だ。山中市政ではたびたび意見聴取会が行われ、今回の所信でも「市民生活に大きな影響を与える重要な政策決定の前には市民や地域の

声を聴く意見聴取会」と言われた。

重要政策を決定する前ということであれば、開催の仕方によらつきがないよう、ルール化が必要。しかし、所信の中で新健康センターに関しては「建設の是非を含めた」ではなく、「建設に向けた意見聴取会」で、建設が前提となっている。趣旨から言うとゼロベースからの意見聴取会とすべきでないか。

答 新健康センターにおいては建設を前提に置いているが、是非を含めて意見をいただける幅広い場になればと思う。

問 まちづくり基本条例が再上程されるのであれば、市長が必要と認めるとき以外に市民の求めがある場合にも意見聴取会を開催する旨を条文に入れ、市政にとって重要な課題をできるだけカバーできる内容にすべきでないか。

答 再提案の際には考慮、検討させていただきます。

日本共産党

代表質問  
関連質問  
関連質問

久松 倫生 議員  
今井 一久 議員  
松田 千代 議員

市長の基本姿勢、財政運営

市長の2期目にあたりこれから

問 財政需要に対する借金の考え方は。

答 27年度はごみ処理施設や新健康センターなどの整備事業が集中し起債残高は増え「借金時計」は逆回転を始める。起債残高の許容量としては、一般会計で上限600億円程度までならやっていると考えている。中長期的な財政運営の中では26、27年度の起債残高の増加はそれほど問題にはならない。



重要な政策課題ごとに実施されている意見聴取会

の市政の重点として、「いのちと痛みを最優先に」「次の世代に対する投資」「観光、まちづくり、

「グラントデザイン」「個性ある地域づくり」「行財政改革」の5項目が挙げられた。財政の基本方針として、80億円に上った財政調整基金の財政調整機能の大きな位置づけや、合併特例債、臨時財政対策債など市債と返済のための交付税について単純に依存しないという考え方が示された。これを受けとめながら、「積極的提案で市政を前に進める」「悪政から暮らし、福祉を守る防波堤となる」「不正をやめさせる」の3つの角度から質問する。

問 市民税の「伸び」が言われているが、法人市民税が好転とされる中、賃下げ、雇用切りでの利益増では経済は暖まらない。経済動向の評価と、税収の見通しについての基本点は。

答 全体で見ると、雇用情勢が緩やかに改善し、給与所得及び企業収益は回復するとの見通しから、個人市民税は前年度比0.1%、法人市民税は前年度比5%増と見込んだ。

**社会保障の課題**

問 今、税金申告の時期であるが、暮らしが大変で、国保税、介護保険料の負担の大きさに悲鳴が上がっており、いのちと痛みにかかわる課題と考えている。また、後期高齢者の滞納に対して年金の差

押えが行われているが、これからの市民負担軽減をどう考えていくのか。

答 国庫負担の引き上げなくしては国保の抱える抜本的な問題解決に至らない。後期高齢者医療制度の先行きは不透明であるが、情報収集に努める。介護保険は決められた制度の中で、低所得者への配慮をしながら、持続可能な制度運営をしていく。

意見 現場に入って高齢者の実態を見てもっと温かい手を差し伸べていただきたい。

問 生活保護基準の引き下げが大きな課題であるが、「いのちと痛み」最優先という市長の考えは。

答 憲法第25条の健康で文化的な最低限度の生活があるという中で、最低賃金や年金受給者と比べて、生活保護だから切り下げているという議論は安直だと思つので、現場実態を踏まえた保護水準を考えていく。

**くらしと経済政策の提案**

問 身近な公共事業への予算配分がこの3年間進んだが、暮らしと経済対策にかかわり、住宅リフォーム助成制度の継続はどうか。

答 今後も研究検討を行っていくが、現場目線での松阪らしい制度設計の提案もお願いしたい。

問 水道料金の引き下げについて南

勢水道協議会での検討と、次回交渉への取り組みについての実践的な考え方は。

答 平成27年の受水費改定に向け、引き下げを主張し県へ強く求めていく。

**ごみ、エネルギー問題**

問 RDFの論議で出ているが、新ごみ処理施設の受け入れについて地元合意が大前提なのか。その上でRDFについて発言しているのか。

答 今ある地域合意でごみ処理施設が建設されてきたので、RDFの議論においても、それを崩すことはできない。

問 再生可能エネルギーの政策展開をどう進めていくか。

答 再生可能エネルギーの政策展開は重要で、26年度からの総合計画にも重点として新たに位置づける。

問 白猪山の風力発電について、住民合意がない場合、この計画に賛同しないという基本的立場に変わりはないか。

答 松阪市のスタンスは従来と一切変わらない。

**歴史、文化、観光**

問 長谷川家と歴史、文化、観光について、文化財指定と保存、活用の具体化が問われる。江戸期の商

人の建物としての価値にとどまらず、貴重な文化遺産として、専門性と総体的な計画と実践力が必要と思うがどうか。



文化財指定とともに、これからの保存活用が大事な長谷川邸

答 長谷川邸を文化財として保存管理していくのは大前提である。観光、文化を一つのパッケージとしてこれらを生かしていく。

問 競輪の今後について、どういった見通しで取り組むのか。



再建の可能性も含めた検討が行われる競輪事業

答 松阪競輪の再建の可能性も含め  
て今後検討する。

子育て、いじめ、体罰問題

問 教育現場の課題に即した教育行政が問われている今、いじめや体罰が課題となっているが、それらへの取り組みはどうか。

答 いじめについては常日頃から子どもたちの実態をきちんと把握することが何よりも大切であり、Q Uを生かしたケース会議を行うなどして学校を支援している。また、体罰についてのアンケート調査も実施しており、報告に基づいてきめ細かに対応したい。

同和事業の終結

問 国の同和事業が廃止され10年、同和地区は存在しないとの見解が示され、同和行政、同和教育の終結を求めてきたが、松同保の「4つの指標と6つの原則」の中に「差別をはねかえすことのできる健康でしなやかなからだの育成」とある。こんな実践をどこかでやっているのか。

答 やっている園はない。

問 説明のつかないようなことはやめてしまえと言いたい。山中市政の中でも異質な内容ではないか。

答 公として補助する効果が出ていくかどうかは、さらに厳しくチェックしていく。

会派に所属しない議員

植松泰之 議員

観光とまちづくりについて

問 観光振興に対する市長の考え方は、観光客をふやして観光産業に繋げていくことを目的とするものではなく、地域それぞれの特色を活かして、修景整備をはじめ歴史文化の活用をする中で、結果的に観光客が集まってきてくれれば良いというものだが、その意味は。



松阪商人の館

答 観光振興は、町並みや景観を保全し、歴史的文化遺産を観光財産、文化財として活かし継承していくことが大事で、観光客に来てもらうことが目的ではない。地域でできることを最大限高めていくことで、結果として地域外の人に親しまれるのが松阪というまちである。

る。

意見 まずは市民の方々にこの観光に対する市長の考え方を共通認識として持ってもらう必要がある。

「子ども委員会」の設置について

問 子ども・子育て支援事業計画の策定等に関して、市は「子ども委員会」を設けて、子供たちの声を直接聞き、市政に反映させていくというが、それは大変大きな問題である。本来なら、普段から子供たちに接している学校の先生や親御さんなどが直接子供たちの意見を聞き、責任を持ってそれらを取りまとめ、斟酌した上でそれ相応の場で伝え、行政に反映させていくのが真つ当な運営の仕方である。行政の仕組みの中で直接子供たちが意見を表明するのであれば、自ずと子供たちに説明責任も発生し、議会における参考人招致の対象にもなり、子供を侵害してしまつことにもなり兼ねない。どう認識しているのか。

答 子供に直接聞くことで、大人では感じられない課題や問題点を明らかにすることができたり、大人になった時の地域社会への参加へも繋がるかと考える。大人で組織する子ども・子育て会議が設置される予定であり、そこで再度協議したい。

会派に所属しない議員

前川幸敏 議員

市長選挙の結果について

問 4年前、何のしがらみもなしで市長になられ、今回、何のしがらみもつくりず市長になられた。もう一人の方との政策の違いはどこにあったのか。

答 今回の市長選では、極めて悪質なネガティブキャンペーンなども相手側陣営かどうかは別として、行われたが、政策において具体的に何が反映されるかという緊張感を持った選挙戦が本来戦われなければいけない中で、相手陣営もマニフェストを出され、私は4年間の実績を示してきた。

政策の違いを言えるものではなく、一言、市民みんなが役割と責任を負っていたと話をしてきた。業界や団体組織がつけばつくほど政策というものは、非常に難しくなっていくのは事実だと思う。

問 職員組合がとられた行動は何だったと思うか。

答 職員組合が推薦に至る経過について内部のいろんな議論なども聞かえてきた部分があった。組合と政党や選挙というのが、かわるこの問題というのは非常に重い

とっていて、当然、市の職員組合も連合、または地域協議会の一員であるという位置づけがある中で、政権やそこに所属する政治家の方々の関係の中で動かざるを得ない、そのような背景の部分は非常に大きいとされている。



1月27日に行われた松阪市長選挙

**少子化対策に必要なものは**

問 市も対策はされていると思うが、後手に回っているのでは。

答 自民党、公明党は、公約で幼児教育無償化をうたい、実現に向けての連絡協議会を3月に設置するという方針が出ている。足利市長は子ども手当に大反対だが、少子化対策の制度設計をしている。

松阪市も待機児童対策の保育園をつくるか対策をしてきた。方針も見ながら検討をしていく。

公明党

代表質問  
関連質問

**観光拠点整備と景観重点地区の**

**推進について**

問 通り本町、魚町1丁目周辺の長谷川邸を中心にした観光拠点整備の最終的なイメージと、今後の取り組みは。

答 長谷川邸、三井家跡、本居宣長旧宅、商人の館の周辺に駐車場の整備と食事処や物販、松阪木綿などの伝統文化を感じる場所の整備をする中で、景観を整備するイメージで松坂城跡、御城番屋敷に連なっていく町並み整備を一体としてやっていく。

意見 この通りを歴史文化村として整備してはどうか。市内に分散している歴史建造物を集積し、町並みの復元も含め積極的に整備をしていただきたい。

問 駅前と市役所前の景観形成について、防災のためにも電線・電柱の地中化を望むがその計画は。

答 駅前通りの電線地中化については、これまで検討してきた経緯はあるが、また具体的な計画はない。今後地元商店街や関係機関と研究していく。市役所前の大手通りに

山本 節 議員  
西村 友 志 議員

については、電線類も含め修景整備の具体的内容を詰めていきたい。

**安全な通学路の整備について**

問 通学路の整備がおくれているように思うが、通学路合同点検の結果と今後の具体的な取り組みは。

答 昨年交通死亡事故が多発したことから、緊急合同点検を行った。その結果、対策が必要な箇所は、国道・県道・市道合わせて124カ所あり、市が対応する箇所は78カ所、現在48カ所に対応した。残り30カ所は今後対応していく。



安全な通学路の整備を

問 中心市街地の道路は道幅が狭いため危険を伴っているが、拡幅工事は立ち退きなど多額の予算を要し限界もある。要望のない箇所はそのまま放置していくのか。

答 未整備箇所はまだある。今後、自治会や水利組合等と十分協議し、効果的に整備していく。

**広告事業のさらなる拡大**

問 数年前に広告事業推進の取り組みについて提案し、それなりの成果を収めてはいるものの十分ではない。多様な広告媒体をさらに有効活用するべきであると考えますが、今後の取組みは。

答 公的機能が害されず、公の信用が失われない限り、徹底した取り組みを図りたい。

**地域活性化策について**

問 嬉野管内に嬉野薬王寺町があり、当地には数百年前に薬王寺(廃寺)というお寺があった。また、当地には薬王堂病院があり江戸時代から医療を始められ、所有する裏山で薬草を採取し、それを練り合わせて調合し薬として処方されていたという歴史的な背景がある。当地を「薬草の里」として位置づける根拠があり、さらに広域な視点から「メディカルバレー構想」と発展させることが可能と考える。三重県にはメディカルバ

しー構想事業があり、地元の意向があれば、人材派遣を行う用意はあると確認している。また、三重大学には、産公学連携をとつていく機関である株式会社三重TLOや地域戦略センターがあり、これらの機関との連携や事業を活用することにより地域の宝を見出し活性化につなげていく手立てになると考える。医薬・薬業関連企業との連携、地域が核となり産物等の付加価値を付けていくという構想に対する考えは。



薬草の郷構想

答 嬉野地域には、さまざまな特産物がある中で、議員の言うメディカルバレー構想というのは、地域の身近なものによる健康づくりや広い意味での構想だと思う。今後は住民協議会の活動や、行政としての支援の仕方、連携のあり方を含め、現場に入りながら、前向き

に取り組んでいきたい。

**選挙予算について**

問 本年7月に参議院選挙と市議会議員選挙が行われる。同日選挙になれば、平成25年度予算中、2800万円ほどの削減につながることから、可能な限り同日選挙とすべきだが可能か。

答 法的に同日選挙は可能であり、選挙管理委員会事務局としては、同日選挙で委員会に議案として出したい。

**フォトコンテストの推進**

問 小単位でのフォトコンテスト等の取り組みがされているが、さらなるPRを兼ねた市主催の大きな単位で、懸賞もつけた絵画・フォトコンテストに取り組む考えは。

答 合併後、数回の絵画・フォトコンテストを実施し、松阪市の魅力の発信ツールとして活用している。今後は、より多くのお客様の関心を集め、話題性を発信し、歴史、自然、文化施設などと連動させて魅力を十分アピールしていくよう研究、検討していく。

**骨髄バンクドナー登録助成制度 導入を**

問 ドナー登録後、患者とのマッチングがあっても仕事の都合や休業補償等の問題で現実的に踏み切れ

ないケースがある。市として骨髄バンクドナー登録助成制度を導入する考えはないか。

答 非血縁者間での患者さんは年間2000名を超え、うち40%の方が仕事や育児、介護の関係でキャンセルしている。昨年から青年市長会で検討しており、市としてもドナーの負担軽減への制度設計を考えた。

**あかつき会**

代表質問  
関連質問  
関連質問  
関連質問

田中 祐治 議員  
中瀬古 初美 議員  
堀端 脩 議員  
中村 良子 議員

**市長の市政運営と**

**政治姿勢について**

問 地方分権の推進と、国や県との連携に関する基本的な考え方は。

答 交付税措置が見込まれる一方、人的担保があるわけではない。国は国で行政改革を独自の形で行っている、市は市で財政マネジメントをしっかりやっていかなければならない。

**競輪事業について**

問 特別競輪等場外車券売場設置収入が、平成24年度は6億2700

**その他の質問事項**

- ・都市間交流の推進について
- ・男女共同参画の視点からの防災対策
- ・行政改革 サービスステーションの拡大について
- ・小津監督思想の未来への継承と展開

万円に対し、25年度は8000万円しか計上されていないのはなぜか。

答 過去の結果を踏まえて、8000万円を計上した。

問 平成23年度の決算7800万円に対し、24年度の予算は6億2700万円計上されている。水増しであったと解釈されても仕方ないのではないか。

答 破綻とならないために考慮しなければならぬ。  
意見 数字(収支)を合わせただけである。

特別競輪等場外車券売場設置収入

(単位：千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
当初予算額	411,075	384,195	341,145	627,375	80,000
決算額	298,984	139,540	78,453	75,000 (見込み)	
差額	112,091	244,655	262,692	552,375	

平成24年度までは、赤字予算となるため、この項目で収支を合わせていた。

33年三重国体の種目誘致と選手育成について

問 平成33年開催の三重国体に向け、松阪市に種目を誘致するためのプランはあるか。

答 三重県下で唯一県営野球場が松阪市にある。高校野球の誘致は絶対的に進めていきたい。また、他のスポーツにおける誘致についても、さまざまな形で検討していきたいと思っている。

問 松阪球場は老朽化しており、受け入れるためには全面改修が必要であるが、県に改修を要望してい

くのか。

答 国体では競技施設基準があり、基準に見合わなければ種目は開催できない。

ごみ処理リサイクルについて

問 生ごみ堆肥化の本格的な推進に關し、堆肥化2次発酵施設拠点整備についての考えは。

答 現状の把握、活動の継続性、一元化後の旧施設の解体、跡地利用計画もあわせ検討していきたい。



完熟堆肥の分配作業  
(飯南生ゴミ堆肥化研究グループ)

問 リサイクル分別と処理について、三雲の細分化方式を総合的に精査しての評価は。また、今後どのように指示していくのか。

答 1トン当りの処理費において、全市域では2万4802円、三雲管内では2万3296円であり、ありがたいと思っている。27年度

からの一元化では、分別区分と処理方式を同じにし、ゴミ減量継続と公平なサービスをし、1区分の品目分け、処理・資源化方法、リサイクルルート、容器リサイクル法関係も踏まえ考えていく。

3Rサポーターについて

問 松阪市が募集した「3Rサポーター」の目的と現状は。

答 市民や市民団体、事業所、行政と一体となり、ゴミ減量や資源の有効利用の促進を図ることを目的に、現在は男性11名、女性5名の計16名が登録している。会員みずから考えた自発的な取り組みや3Rサポーターが主体となった事業などを協働して行っていく。

市民や地域のいのちを支える産業を育てるまちづくりについて

問 元気松阪産業ビジョンピックアップについて、イベントパフォーマンスに終わってしまわないような、出展企業のメリットがその後も継続するよう工夫は。

答 出展企業同士の技術連携、地域の工業、商業、農業間の包括的連携による新製品、新産業の創出、松阪地域の企業及び物産への理解と信頼、製品販路の拡大、企業知名度の向上による就労支援に期待し、来場者向けリーフレットへの

商品の掲載、市ホームページでのPR、フォローをしていく。

問 松阪商品、松阪物のアンテナショップ常設への考えは。

答 アンテナショップの場所の提供が得られるよう、商工団体、商店街振興組合、観光関連団体等との連携、協力を仰ぎ支援していく。

問 TPP参加が色濃くなる中、持続可能な農業が危惧される。農業振興の根本となる「松阪市農業地域振興計画」策定への考えは。

答 JAなど関係機関といろいろな角度、視点等から研究していきたい。現在、農業振興地域整備計画を見直しており、まずその農用地の土地利用の方針を決めていくことによって、その次の段階かと考えている。

人と愛玩動物との共生と問題点

問 犬、猫の去勢費用は1万5000円から2万円かかるが、野良猫の去勢手術はボランティアが負担している。また、熊本県の愛玩動物の殺処分はゼロであるが、三重県は昨年3700頭であった。いのちと痛みを最優先としている市長の所信に沿っていないのではないか。

答 動物愛護管理は県が責任を持っているが、市としても行政管轄として4年間、取り組んできた。意見 ボランティアが身銭を切らな

いような施策が大事である。  
**防災対策について**

問 安全防災を所管する部長として、いろいろな防災対策をやらなければならぬが、何かからまず取りかかるのか。

答 市民の担うべき役割の整理やふだんの啓発が重要である。また、災害対策本部の各部署の災害行動マニュアルの精度向上などが重要になってくる。



防災対策の究極は官民協働による本番さながらの実施訓練の繰り返しです

問 東北に松阪からたくさん義援金が送られ、また、多くの災害ボランティアが現地に向かった。そういう中、陸前高田市市長が山中市長を応援されたことは不快であるが、見解は。

答 市民へのお礼と応援に來たいという善意の中で來られた。

意見 市長は市民の顔として襟を正して、クリーンな行動をすべきである。

**公共交通について**

問 高齢化が進む宇気郷地区の高齢化率は70%近くで、高齢者はバス停まで歩いていけない状況にある。この4年間で、どう対策してきたのか。

答 金曜日及び土曜日午後の復路1便を増便し利便性の向上を図った。また、地域の実情に見合った運行と地域の協力が不可欠であり、地域と行政が汗をかきながら協働して取り組んでいくことが必要であると考えている。

意見 部局間を超えて、横の連携で地域をサポートしていただきたい。

**セーフコミュニティについて**

問 セーフコミュニティは、WHO、世界保健機関が推奨する国際認証だが、松阪市の取り組みは。

答 平成23年5月に研究会を開始し、これまでに6回開催、先進自治体の視察も行った。地域の実情に合った効果的なものとして発展させていくために、ふさわしいあり方や仕組みづくりに取り組んでいく。

問 松阪市では、国際認証のISO14001が事業仕分けで不要と

判定されている。セーフコミュニティも同じようにならないか。

答 認証に向けた目標があると、ネットワークのつながりや意識の高まり、モチベーション自体も上がる。安心安全なまちづくりに必要で、多様な機関が連携をしたネットワーク会議なども含めて議論を深めていきたい。

**真政クラブ**

代表質問  
 関連質問  
 関連質問  
 関連質問

水谷晴夫 議員  
 野呂一男 議員  
 山本芳敬 議員  
 大久保陽一 議員  
 濱口高志 議員

**市長の所信について**

問 市長は所信において、いのちと痛み、次の世代に対する投資、過去と今、未来につなぐ観光・まちづくり、個性ある地域づくり、行政改革を重点分野として、市政運営を行っていくと表明されたが、それぞれのグランドデザインをどう描こうとしているのか。

答 市民みんなで幸せを実感できるまち、それぞれの立場にある方が一緒に汗を流し、知恵や行動力を出して頑張っていくまちが松阪市

**施設仕分けについて**

問 市の公共公用施設は約6300、面積ベースにしてその7割以上の施設が築後20年を経過しているが、施設カルテの作成は。

答 コンサルに丸投げするのではなく、しっかりと施設の現状を見たり、地域や関係団体とも話し合ったりしながら進めていきたい。

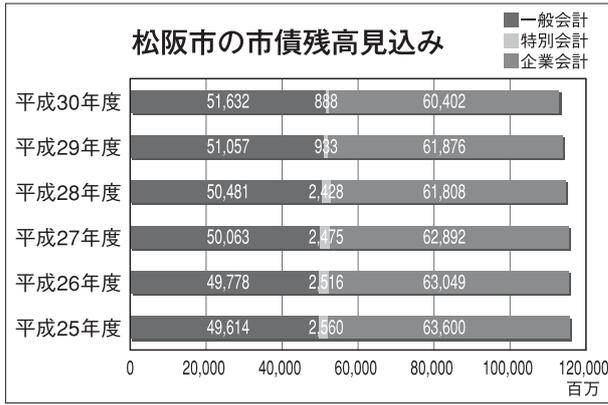
**財政政策、財政運営について**

問 地方交付税は、地方財政平衡交付金の時代から、団体間の財源偏在の均衡化という一貫した目的を持っていく。所信において、先延ばしを繰り返して、国自体が交付税参入を先食いしてきたと発言しているが、その意味合いは。また、

のグランドデザインであり、めり張りをつけた投資をしながら、行政改革を進め、全ての案件において説明責任を果たせるものの方がより大事であると思う。

問 市長の地方交付税に対する基本的な見解は。

答 地方交付税は、自治体間の財政



臨時財政対策債や合併特例債の償還に対して、交付税で後年度負担する時代ではなくなっている現実というのはいかほどか。

答 基準財政需要額のうち事業費補正、公債費関係といった割合が高くなり、相当な部分が過去の借金の返済によって食われている。交付税が特定財源化し、一般行政経費の需要額が結局圧縮されてきている。臨時財政対策債においては、抜本的な制度改正を行わず、借金を返すための借金が雪だるま式にふえるという問題をいつまでも放置しておくべきではない。

問 国の基本方針や地方財政計画の考え方による経済再生の試みが松阪市には見受けられない。飛躍的な経済再生のためには、財政規律を重視しながらも、財政出動すべきと感じるが、市長の考えは。

答 施策展開の礎となる財政基盤については、単年度の収支均衡の保持、長期間を通じて起こる財政変動にも弾力のある財政基盤を確立する必要がある。平成26年、27年にはもともと従来から計画もされている案件自体のピークもある中で、投資すべきときである一方、一番財政としても厳しい状況であり、市としての具体的な方向性を判断していかなくてはいけない。

問 市長は財政再建を果したという実績をアピールしているが、新規事業は駐車場の土地購入費であり、観光施設整備事業についても、意見聴取会をした上で方向性を定めて、予算計上する時間的余裕もあつたのではないか。

答 必ず観光文化の拠点をつくっていく、活用していくという覚悟を持って、土地を購入し、駐車場なり、新しい長谷川邸と連動した拠点施設の構築も含め、議論を市民

力の格差を解消するためには重要であるが、基準財政需要額のうち地方債の元利償還金算入額の占める割合が高くなり、結局一般行政経費の需要額が圧縮されている。

問 松阪市の新政権の経済対策のための方々と進めていく中で、一つひとつ進めるといって投資はしていければと思う。

問 合併から8年経過したが、地域審議会のこれまでの審議内容と、最終の任期を迎える平成25年度、26年度において、新市建設計画の執行状況をどのように扱っていくのか。また、今後市としてどのように住民協議会を位置づけ、どのような方針でかわっていくのか。

問 松阪市の新政権の経済対策のための公共事業予算に対する見解と取り組み方針は。

答 老朽化している橋梁や排水機場が多数存在している。事前防災・減災のための国土強靱化の推進を柱とする経済対策は公債費の影響を考えながら活用していきたい。



長谷川邸に隣接する駐車場

問 地域福祉の主体は住民協議会となっているが、行政として住民協議会、地区福祉会、自治会の役割はどう整理されていくのか。

答 地域福祉計画実践プランを推進するに当たっては、地域の実情に応じて住民協議会と地区福祉会や自治会などが協力しながら活動していくことが重要である。

問 行政、社会福祉協議会、包括支援センターをどのように役割分担し、整理されたのか。

答 コミュニティ推進課、地域振興課、地区市民センター、健康推進課、地域包括支援センター、社会福祉協議会の各地区担当者で地域連携活動サポートチームを組織して実践プランに掲げる重点推進活動の推進や地域計画の策定の支援を行う。

問 新市建設計画は、当時の議論の基準点として必要はあるものの、現在のニーズや優先性、緊急性も含めて市政運営を行っている。10年間の合併後の検証という形で、行政として反映をしていきたい。住民協議会は、単なる行政の下部組織ではなく、自主性、自立性に配慮し、地域の取り組みを応援していきたい。

生活保護について

問 政府は3兆7000億円と増加し続ける生活保護費の中の食費や光熱水費に該当する生活扶助費の6・5%の値下げを2013年8月から実施するが、市への影響は。

答 松阪市は都市部と町村部の中間に該当するため、主に複数人数5・23世帯が引き下げの影響を大きく受け、その他世帯の199世帯や母子世帯の139世帯などの子育て世帯に影響が出る。都市部の2015年度以降の例では、夫婦と子1人の3人世帯で1万6000円の減、夫婦と子2人の4人世帯で2万円の減、母親と子1人の母子世帯で8000円の減、70歳以上の単身世帯で3000円の減と試算されている。福祉事務所としても、セーフティネット最後のとりでとしての役割を維持、継続すると同時に、保護の適正実施や自立支援に取り組んでいきたい。

敬老会開催事業について

問 振興局管内の敬老会開催を住民協議会へ移管する予定であったが、従来どおり開催することになった理由は。

答 住民協議会に意見を聞いたところ、いろいろな意見があり、また、住民協議会へ移管する場合の交付

金が決まっていないためである。意見 こんな質の高い演芸を生で見られる機会は多くない。年に1回の高齢者の楽しみを取り上げないでほしい。住民協議会の役員を敬老会に招待し、現状を見てもらい移管できるものか確認してほしい。

香肌奥伊勢資源化広域連合について

について

問 組合議員の立場というのをどのようになっているのか。

答 検討資料の全体像が出たときに組合議員、市議会に説明する。

問 ごみ処理一元化の推進について、3町への連絡はとってあるのか。



香肌奥伊勢資源化プラザ

答 首長方には丁寧の説明させていただくとともに、文書においても通知を出している。

問 県の離脱ルールに関する経過と現状は。

答 離脱に伴う負担金は離脱年度から32年度までで、RDF製造団体の製造団体は、脱退に伴う負担金を一括で支払わなければならない。意見 いつの時代も協力、共助、思いやりの心は人間関係と同様、市町の関係においても持ち続けていかなければならない。お互いの立場を理解して協議が早く合意に至ることを願う。

農業振興政策について

問 生産条件が不利な状況にある中山間地域の農業について、どのような支援を行い、守っていくのか。

答 中山間地域等直接支払事業交付金制度を市内の14地区で実施し、地域ぐるみでの水路や農道等の管理活動や耕作放棄地の発生防止に向けた活動などに、最高で10アール当たり2万1000円の交付金を交付している。今後引き続き事業を継続していきたい。

問 森林経営計画策定の現在の進捗状況と、平成25年度の策定計画及び事業の実施状況は。

答 森林経営計画へ移行する計画策定と新規の計画を合わせ、約3100ヘクタールの計画を策定している。25年度は提案型集約施設団地を中心に1000ヘクタールの計画策定を目標とし、110ヘクタールで約7000立方メートル

の間伐材の利用を目標としている。

問 木質バイオマス発電施設について、発電事業の概要と市としての考え方は。

答 県内初の売電を目的とした木質バイオマス売電施設で、未利用の間伐材をチップ化し、燃料とする燃焼ボイラーと蒸気で稼働するタービン発電機で、平成25年度に着工し、26年度の秋の稼働を予定している。

問 住宅分野以外の公共建築物の木材化や、輸入材が有利な分野での需要拡大が重要と考えるが、市の考え方は。

答 松阪の木を使って新築した所有者に支援を行い、公共構造物については、施設の目的、規模、構造等に応じた木材化、木質化の推進を図っていきたい。地域製材により加工される建築用材、県外合板工場への用材、パルプ用材、木質バイオマス原料として、地域材の有効利用を推進していきたい。

松阪牛まつりについて

問 ベルファームで松阪牛まつりには仮設テントを使っているが、その費用の総額は。

答 9回開催し、総額3420万円になる。

意見 このイベントも定着してきた。常設会場をつくってはどうか。

他のイベントや雨天時のゲートホール等にも使える。



牛まつりで使用している仮設テント

**観光戦略について**

**問** 歴史文化といった過去を生かし、未来につなげていく長谷川邸の活用を含めたまちなかのランドデザインをどう描いていくのか。

**答** 長谷川邸は豪商美術館という形を前提にして進めていきたい。三井家、長谷川家、小津家がある豪商のまちというイメージが松阪になく、そのイメージを明確化していく。殿町の武家地、豪商の屋敷のある商人地、城下を有する神社、そして街道という形で、城下町を構成するさまざまな要素があり、観光資源と連動する形で魅力ある歴史文化エリアとして、ランドデザインが描ければと思うている。

**都市間交流について**

**問** 友好都市との交流に対する補助はないのか。

**答** 海外との国際交流事業には補助金がある。

**意見** 国内の友好都市との交流に補助金を出し、双方の活性化につなげていただきたい。

**企業立地、連携の推進について**

**問** 市の発展、人口の確保に企業の誘致と雇用対策をどのように捉えていくのか。

**答** 首都圏、中京圏でのPRを行った。今後も地道に企業訪問、情報収集など積極的に企業誘致に努めていく。

**問** 企業の誘致があった時に、その企業の規模のみに応じて造成立地を進めてはどうか。

**答** 企業の要望に応じた具体的な形で交渉を進めるオーダーメイド型の造成など、土地に対するあり方において、協力する体制づくりをしていく企業誘致政策を松阪市として進めていきたい。

**復興支援の取り組みについて**

**問** 復幸応援センターの活動内容をごどのように評価され、今後の活動において実践されていくのか。

**答** 行政支援ではなく、官民協働のネットワークによる支援や地域の

きずなの再生を支援していく。雇用の場の確保や地元特産品のあつせん、地域行事の復活など、今後もしっかりと役割を果たしていきたい。

**問** 専門性を持つ職員を派遣することこそ復興を早期になし遂げていく一助になると考えているが、業務支援職員の派遣に至った経過や具体的な職務内容は。

**答** 陸前高田の政策的な機能の中心としてかかわっていたたく職員を1人派遣してほしい要請があった。企業誘致、雇用創出を図るための施策の立案、ユニバーサルデザインのまちづくりなど、復興関係の立案、広報活動等を行う。

**親子防災キャンプ事業について**

**問** 親子防災キャンプ事業について募集方法と体験事業、今後小学生、保護者に対する取り組みは。

**答** 震災に直面した時、知識と技術を親子で学び、いかに命をつなぐか、自助に対する意識を養い若年層への防災意識の向上を図る。今後は実施する事業を精査し事業継続等について検討していきたい。

**平成33年の国体について**

**問** 総合運動公園で何かの競技が開催されればと期待している。市長の国体に向けての意気込みは。

**答** 総合運動公園なども活用でき

ば望ましいと思う。今後市民全体を巻き込んで、松阪にふさわしい競技の誘致を進めていきたい。



松阪市総合運動公園

**競輪事業について**

**問** 平成22年度に松阪競輪あり方検討会を設置し、改善策や方向性について提案をいただいているが、なぜ早期に実施しなかったのか。取り組みの遅れが現在の状況になっているのではないか。

**答** あり方検討会の提案を受け、事業モデルの再構築や経費の削減など、さまざまな形で進めてきたが、平成24年度の上半期における売り上げの落ち込みがあまりにも大きかった。厳しい状況であるの間違はなく、リスクを行政が負わないう中で再生ができるのかどうかという基準に立った中での新たな提案を含めて今後は進めていかなくてはならない。

議案の審議

常任委員会の審査から

2月定例会に提出された議案は、本会議で質疑のあと、それぞれ各常任委員会に付託され、慎重に審査されました。各委員会における主な質疑応答、意見は次のとおりです。

総務生活

三重中京大学返還地測量等

事業費について

問 三重中京大学閉校に伴う返還地の境界確定における測量代は、無償譲渡先の梅村学園が負担すべきと考えるが、なぜ市が負担するのか。

答 昭和55年12月に梅村学園とかわした土地譲与契約書において、大学の用途に供しなくなった場合は市に返還するという条文に基づき、今回返還してもらうもので、契約当時、市から4年制大学誘致を要望する中で、実測をせずに無償譲渡し、その後、取り付け道路などの土地の改変、また、返還地を今後市が活用することなどから、市が経費負担することが妥当であると考ええる。

一般木造住宅耐震補強事業について

問 一般木造住宅耐震補強事業について、一般木造住宅の耐震化が進まない大きな要因は、多額の工事

費用によるものと聞いているが、そのあたりの課題をどのように認識しているのか。

答 3月18日、内閣府は、南海トラフ発生による経済的被害として220兆円に上るとの想定を発表したが、被害の大半を占めるのは建物倒壊等であり、耐震化することによって、被害を半分に抑えることができるとの見解が示された。耐震補強における自己負担は多いものの、家屋倒壊は、家族の命や家だけではなく、避難路等となる道路をかさぐさなど、地域の安全にもつながることを今一度、再考してもらおうよう、周知・啓発に取り組んでいきたい。

松阪市常勤の監査委員の給与等に関する条例の廃止等について

問 常勤、非常勤とも業務内容はほぼ同じで、報酬、つまり、仕事に対する対価の違いは大きい、そのあたりをどのように考えているのか。

答 これまで常勤の監査委員による指導などによって、監査事務局職員の監査に関する調査能力等の向

上及び、職員全体の事務の適正化に対する意識が向上し成熟してきたことや、他市の事例を参考に今回、常勤を非常勤に改めるものである。

問 これまで外部の監査委員を登用してきたことは評価するが、非常勤にすることによって、監査における一定の熟達、勉強等の時間も無くなり監査力が低下する懸念があり、昭和36年から続いていた体制を崩すことは、原則論を曲げることになるかと考えるが、見解は。

答 原則となればそうであるが、監査事務の現状を分析する中で、非常勤でも監査事務は十分担保できると考えた。

意見 監査機能はより厚くするものであり、また、今回の体制について、監査を受ける執行部側と議論を交わして判断するより、監査をする側の人たちと議論を交わさないと判断し難いところがある。した



総務生活委員会での審査

がって、これまでの原則論である常勤を維持していくべきと考える。

環境福祉

社会福祉法人指導監査等事業費について

問 事業及び委託料の内容は。

答 対象となる社会福祉法人は29事業所であり、法人の運営と会計の指導監査並びに認可業務などを行う。委託料は、松阪税理士会に監査業務の後方支援をお願いする。

放課後児童クラブ活動事業費について

問 県補助金について、今年度は満額計上されているのか。また今後、市内36校区全部に児童クラブの整備を行っていく計画はあるのか。

答 25年度の県補助金については満額計上している。市内で27校区31クラブが活動することになるが、児童数が少ないなど9校区でまだ設置されていない。今後、問い合わせや活動の状況を把握しながら、複数校区でクラブを共同利用することも含めて検討していきたい。

高等技能訓練促進事業費について

問 前年度に比べ減額している理由及び周知の方法は。



環境福祉委員会での審査

問 安心子ども基金の活用において、度重なる制度改正で有効な広報活動ができず減額の要因となったと思われる。今後、市の広報、行政チャンネル並びに児童扶養手当の資格更新時等にPRしていきたい。

**大気環境調査事業費について**

問 松阪市内のPM2.5は測定できるときの。また緊急時の対応はないが、県の調査項目には含まれないが、市の調査では市内に力所測定地点がある。最近の測定結果は、国の指針と比較して問題ないと思われる。また、緊急時の対応は、国から県に対しマニュアルが示されると聞いている。

**不育症治療費助成事業費について**

問 治療を必要としている人へのきめ細やかな周知についてどのように実施していくのか。

答 この事業を導入したこと、そのものが大きなPRと考えている。指定する医療機関との連携及びポスターの掲示、市広報、イベントでのリーフレット配布等に対応していきたい。

**ごみ処理基盤施設建設事業費について**

問 最新の事業費見込み及び地元業者への経済効果は。

答 平成25年度一般会計予算政策・事業等説明資料の中の総事業費82億4187万5000円は、平成20年度から平成30年度の事業費で、計画策定からプラント建設を始め、旧施設解体事業費、解体後の跡地利用における事業費を見込んだ合計額である。地元への経済効果については、定期的に落札業者と協議を行う中で、雇用及び各種薬剤等消耗品の調達等について配慮してもらうものと考えている。

**松阪市松阪市民病院事業会計予算について**

問 認定看護師の状況及び今後の育成における計画は。

答 現在4人の認定看護師がいるが、25年度でも、看護の質を高めるため慢性呼吸器疾患看護など3人の認定看護師の育成を予定している。

文教経済

**有害鳥獣防護柵設置補助金について**

問 設置単価は3年前の単価ではないのか。平成24年度では、物価や資材の高騰で1反当たり11万6000円となっている。実際の事業費の2分の1を補助するべきではないのか。

答 地域ぐるみでの防護柵設置の取り組みを推進しており、カバー出来ない個々の農家に支援を行っている。今年度の設置実績などいろいろな面から考えていきたい。

**観光施設整備事業費について**

問 長谷川邸の寄贈と駐車場の購入は密接不可分なのか。

答 観光客の利便性を高めるために必要であり、駐車場をうまく活用していくということを決定したもので、密接不可分なものと考えている。

**意見**

三百数十年の建物が市のものになる。議会としても、どのように保存し、文化財として検証し活用するということが問われる大きな課題であり、真剣に取り組まなければならぬ。

**長谷川家資料調査事業費について**

問 長谷川家の文書のほか、民俗員

や美術品も寄贈の対象になるのか。

答 江戸書状のほか、書画、骨とう類は市に寄贈の予定であり、お蔭参りの史料は極めて貴重なものだと考えている。餅史料も寄贈の予定で、寄贈されないものについても、寄託なり借用して展示できればと考えている。

**競輪事業特別会計について**

問 方針として、廃止、サテライト化を決めたということではないか。

答 3月末での撤退は無理であり、最低限上半期は本場でレースを開催しながら、下半期は場外車券を売り続けるということを考え、その間に廃止、サテライト化について協議していくということであったが、最近になって、いろいろな業者からアドバイス等をいただき、リスクがなく再生ができるのであればということ、そのことも含



文教経済委員会での審査

問 調べて考えている。  
単年度での赤字からの脱却と一般会計からの繰り入れをなくすことが継続の大前提か。

答 赤字や繰り入れというリスクを回避した中で、競輪事業にチャレンジできるかどうかである。再建は、ある程度基金があり、安定した事業運営ができることである。

問 また、議会へ提案するということが。

答 30億円もの経済効果というものは、そう簡単には捨てられない。行政としてのリスクを最小限に抑えつつ、事業ができるような方向で考えたい。なるべく早く行政としての意思を固めて、議会で議論をしていただきたい。

意見 議会としては、25年度当初予算は、一般会計から繰り入れた半期での開催という、その事実を可決したわけで、当然その結果がどうなるということは、あいまいな気持ちでの再生なんていうことには結びつかないということだけは、はっきりと認識していただきたい。

## 建設水道

### 橋梁長寿命化事業について

問 どのように進めていくのか。

答 橋梁台帳上、1767橋のうち、現在、橋長15メートル以上の橋梁

は192橋あり、橋梁の点検と健全度評価を行って修繕計画を策定している。現在は、橋長15メートル未満、6メートル以上の544橋の橋梁について平成24、25年度において、点検、健全度評価、修繕計画を策定し、優先順位の高い順に修繕工事を行なっていきたい。なお、6メートル未満の橋梁については、かけかえが、必要となつた場合に対応していく。

### 都市計画変更事業費について

問 500万円の使途は。また、地元への説明はどのように行うのか。

答 都市計画の見直しに伴う図面作成等に関する業務委託料である。また、今後の予定としては、市街化調整区域の管内全域を回る必要があるため、2年ないし2年半の期間が必要である。説明は小学校区単位くらいと考えている。

### 総合運動公園建設事業費について

問 総合運動公園建設に伴う備品等の詳細は。

答 昨年、供用開始した芝生広場のサッカーゴールやグラウンドレーキ等のグラウンド整備用品と25年度に整備予定の人工芝の多目的グラウンドのサッカーゴールやライナーなどの備品等である。また、多目的グラウンドの供用に向け

て、管理棟の設置を計画しており、それに伴う備品等を考えている。

### 住宅新築資金等貸付事業特別会計 予算について

問 平成8年度に貸付制度が終わり、33年度に終了する事業と認識するが、33年度以降はどのようになるのか。

答 平成33年度には国への償還は終了するが、滞納整理は引き続き職員で行っていくので、事業は継続していく。回収金は一般会計で経理する方向で考えている。

### 水道事業会計予算について

問 年々水道料金が減額となっている。平成25年度においては収支見込みで約3000万円の赤字と聞いているが、その詳細な内容は。

答 平成25年度の水道事業収支においては、収益の大半をしめる水道料金が景気の低迷や節水の浸透により、給水量は年々減少している。平成24年度の決算見込みとして、約9100万円の純利益のうち、水道料金は、24年度見込みに対して、25年度の給水量は約23万6000立方メートルの減で、水道料金としては、約4800万円の減額を見込んでいる。また、費用では減価償却費の見込みの増などで、収支合わせて24年度の決算見込額よりも6100万円の減とな

り、予算計上においては、約3000万円の純利益を見込んでいる状況である。



建設水道委員会での審査

## 議場見学

1月28日、松阪市立第一小学校の6年生児童16人が、社会科学習の一環として議場見学に訪れました。

議場では、素朴な質問から議会の運営等に関することまで、たくさんの質問が繰り広げられました。



本会議場にて

# 平成24年度行政視察の受入状況

月	市名等	人数	調査項目
4月	愛知県常滑市議会	7	議会改革
	三重県四日市市議会	1	市民病院（緩和ケア）
	沖縄県名護市議会	10	行財政改革
	青森県八戸市議会	5	議会改革・まちなか再生プラン
	千葉県我孫子市議会	3	地域マネジメント・このまちミーティング
5月	東京都清瀬市議会	4	借金時計・行財政改革
	長崎県西彼杵郡長与町議会	8	行財政改革・人材育成
	神奈川県相模原市議会	3	借金時計
	長崎県大村市議会	8	読書室いきいきプラン事業（東部中学校）
	埼玉県川口市議会	1	財政改革
	大阪府東大阪市議会	4	部局長の「政策宣言」
6月	群馬県前橋市議会	2	市長の市政改革
7月	三重県鈴鹿市議会	2	浄化槽市町村整備事業・下水道事業
	島根県浜田市議会	9	地域ブランドを核とした産業の活性化戦略
	京都府長岡京市議会	5	住民協議会
	新潟県佐渡市議会	8	行財政改革大綱
	愛知県長久手市議会	8	住民協議会・まちなか再生プラン・行財政改革・借金時計
	埼玉県北葛飾郡松伏町議会	4	住民協議会
8月	奈良県奈良市議会	2	借金時計・耐震工事・財政健全化
	岡山県総社市議会	6	行財政改革
10月	茨城県日立市議会	13	議会運営
	秋田県議会	8	支援物資のアレルギー対策
	京都府宇治市議会	3	住民協議会
	福岡県京都郡苅田町議会	6	耐震改修工事
	広島県東広島市議会	9	議会運営
	埼玉県桶川市議会	8	入札制度
	兵庫県西脇市議会	6	看護体制について
	群馬県太田市議会	9	ベルファーム
	宮崎県西都市議会	7	松阪牛ブランド確立
11月	北海道北後志町村議会	10	議会改革
	埼玉県久喜市議会	10	事業仕分け
1月	愛媛県東温市議会	10	このまちミーティング
	埼玉県鶴ヶ島市議会	3	地域マネジメントシステム
	千葉県君津市議会	3	事業仕分け
	鹿児島県垂水市議会	7	議会改革・議会運営
	三重県伊勢市議会	12	予算・決算審査
	佐賀県武雄市議会	6	議会改革
	群馬県藤岡市議会	10	議会改革・議会運営
	千葉県流山市議会	4	住民協議会
2月	東京都足立区議会	15	議会改革・議会運営
	岩手県花巻市議会	11	議会改革・議会運営
	山口県宇部市議会	4	地域ブランドの推進
	茨城県那珂郡東海村議会	3	住民協議会
	埼玉県春日部市議会	11	ベルファーム・議場見学
	愛知県長久手市議会	10	議会改革・議会運営
	兵庫県豊岡市議会	13	総合支所の組織のあり方
	愛知県稲沢市議会	1	市民病院経営
	大阪府大阪市議会	15	未来型図書館管理システム

# 平成24年度政務活動費の執行状況

## ■交付の趣旨

政務活動費は、松阪市議会議員の政策立案及び調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付しています。

## ■交付の対象

松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して交付しています。

## ■交付額

会派の所属議員数に月額25,000円を乗じて得た額(会派に所属しない議員は月額25,000円)を交付しています。

## 《政務活動費》

(単位：円)

科目	会派名	真政 クラブ (10人)	市民民主 クラブ (6人)	あかつき会 (5人)	日本 共産党 (3人)	公明党 (3人)	会派に所属しない議員			合 計
							植松泰之 (1人)	海住恒幸 (1人)	前川幸敏 (1人)	
当 初 交 付 額		3,000,000	1,800,000	1,500,000	900,000	900,000	300,000	300,000	300,000	9,000,000
支 出 科 目	研究研修費	180,220	67,080	202,900	256,870	0	33,760	61,160	0	801,990
	調査研究旅費	1,902,790	1,256,010	515,245	0	146,620	71,780	114,900	78,135	4,085,480
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	33,520	11,260	8,820	120,141	0	98,960	52,588	55,800	381,089
	広 報 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 費	275,875	70,438	191,588	80,062	78,053	33,857	11,601	10,838	752,312
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計		2,392,405	1,404,788	918,553	457,073	224,673	238,357	240,249	144,773	6,020,871
残 額		607,595	395,212	581,447	442,927	675,327	61,643	59,751	155,227	2,979,129

※政務活動費の残額2,979,129円については、松阪市に返還されました。

※平成25年2月28日までは、政務調査費として取り扱われています。(地方自治法の改正による)



議会報告会(茅広江地区市民センター)

初めての議会報告会が終わる

松阪市議会では、平成24年11月に議会基本条例を制定し、議会からの情報提供及び情報共有を進めるため、市民の皆さまに開かれた議会を目指すことを目的として、4月22日、30日、5月13日の3日間、11会場において、初めて議会報告会を開催しました。

2月定例会での審議内容などについて、議員が市民の皆さんに説明するとともに、市議会や市政に関して意見交換を行いました。

議会報告会でいただきましたご意見、ご提案等につきましては、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。多数のご参加をいただきまして、ありがとうございました。

次回は、9月定例会終了後に開催する予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています

5月定例会の開催日程

5月定例会は、5月31日(金)から6月21日(金)までの会期22日間の日程で開催します。

- 5月31日(金) 本会議 議案上程・提案説明
- 6月 7日(金) 本会議 議案質疑・委員会付託
- 11日(火) 本会議 一般質問
- 13日(木) 本会議 一般質問
- 14日(金) 本会議 一般質問
- 17日(月) 委員会 環境福祉委員会  
文教経済委員会
- 18日(火) 委員会 総務生活委員会  
建設水道委員会
- 21日(金) 本会議 議決

※本会議は、市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で開催いたします。

※時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。

※変更される場合もありますので、ご確認ください。

本会議の議会放映

本会議については、ケーブルテレビ(iウェーブまつさか)の行政チャンネル(デジタル123ch・アナログ6ch)により、生中継及び録画による放送を行います。録画放送については、平日の午後8時からの放送予定です。

また、松阪市議会のホームページからもインターネット中継及び録画をご覧になれます。

この機会に、ぜひ議会の様子をご覧ください。

◆松阪市議会ホームページ◆

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/www/genre/0000000000000/1000000000448/index.html>

議会のうごき

— 3 月 —

- 1日 議会改革特別委員会第59回作業部会
- 4日 宮川福祉施設組合議会定例会(大台町)
- 6日 議会改革特別委員会第60回作業部会
- 7日 環境福祉委員会協議会
- 8日 会派代表者会議
- 13日 松阪市自治会連合会と市議会との懇談会
- 15日 第16回議会改革特別委員会
- 18日 環境福祉委員会協議会  
文教経済委員会協議会
- 19日 総務生活委員会協議会
- 22日 多気町松阪市学校組合議会定例会(多気町)
- 25日 2月定例会閉会(開会2月20日)  
市議会だより編集委員会

— 4 月 —

- 17日 議会運営委員会  
松阪地区広域消防組合議会ブロック会議  
松阪地区広域衛生組合議会ブロック会議
- 18日 第96回東海市議会議長会定期総会(岡崎市)
- 22日 議会報告会
- 24日 建設水道委員会協議会
- 25日 松阪地区広域消防組合議会臨時会  
松阪地区広域衛生組合議会臨時会  
全員協議会  
議会運営委員会
- 30日 議会報告会

— 5 月 —

- 1日 5月臨時会開会(閉会5月1日)
- 8日 全国自治体病院経営都市議会協議会第41回定期総会(東京)
- 9日 香肌奥伊勢資源化広域連合議会全員協議会・臨時会(多気町)
- 13日 市議会だより編集委員会  
議会報告会
- 15日 宮川福祉施設組合議会臨時会(大台町)
- 20日 第146回三重県市議会議長会定期総会(鈴鹿市)
- 21日 全国市議会議長会第191回理事会(東京)
- 22日 全国市議会議長会第89回総会(東京)
- 24日 議会運営委員会
- 29日 市議会議員共済会第106回代議員会(東京)  
松阪飯多農業共済事務組合議会臨時会(多気町)
- 31日 5月定例会開会(閉会6月21日)

お問い合わせ 松阪市議会事務局

電話 53-4433

FAX 23-3962

Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp

発行/松阪市議会

(〒515-8515 松阪市殿町1340番地1)

編集/市議会だより編集委員会

市議会だより第45号をお届けいたします。  
本号では、2月定例会における代表質問及び議案審議の内容を中心に掲載いたしました。  
市議会では、市議会だより、市議会ホームページでの会議録の検索、議会放映等市議会の活動が少しでも皆様方の身近なものとなりますよう、議員一同日々研さんしております。  
市議会だより及び議会放映を見られるご意見・ご感想を市議会だより編集委員会(松阪市議会事務局)までお寄せください。



編集後記